



ご家族に見守られながら音の葉の玄関に直筆の表札を掲げたおふたり。今日はここがおふたりの家

Welcome to my home

ようこそ
我が家へ

CASE 5 古川家

目指したのは「味のある結婚式」
一層縮まった家族との距離



挙式前に新郎様とご両親の3で行われた「白扇の儀」

音の葉「おふたりが音の葉を選ばれたきっかけを教えてください」
新郎「ふたりとも元々古いものが好きでなので、古民家の結婚式場というワードにまず惹かれました。」
新婦「実際に訪れてみて、建物はもちろんのこと季節を感じることもできる周囲の豊かな森、そしてスツタフさんを含め会場の持つアットホームな雰囲気がとても気に入って選びました。」
音の葉「新郎様は入婿として家を

出られる立場でしたが、挙式前に行われた親子三人きりで過ごす『白扇の儀』の時間はどんな心持ちでしたか？」

新郎「両親へ今までの感謝を綴った手紙を書いてきたんですが、顔を見た瞬間に感情が込み上げてきてしまい、はたしてちゃんと読めていたかどうか…。その後、両親から扇にしたためられた言葉を贈ってもらいました。扇には『把手共行』『思いやり・趣味を楽しく』と書かれていて、普段はなかなか聞けない両親の気持ちとエールにしばらく涙が止まらなかったです。」

音の葉「新婦様は『紅差しの儀』にて、親御様から結婚前の最後の身支度を整えていただくお時間がありました。その時の心持ちはい

親御様から贈られた白扇



かがでしたか？」

新婦『「紅差しの儀」は少しの緊張感と照れくささのある、とても優しい時間だったと思います。私も両親への手紙を読んだんですが、書いている時に泣き腫らしたので実は当日は意外と冷静で…。(笑)ただ、親からも手紙があるとは思っていなかったの、常に私を想ってくれている内容にジーンときました。』

音の葉「挙式も『露頭の儀』『三



「三献の儀」。両家のお父様から新郎新婦の幸せを願って盃へお酒が注がれます

献の儀」など、昔ながらの儀式を取り入れられていましたね」

新婦「より味のある私達らしいセレモニーをとの事で、プランナーさんからご提案いただきました。『露頭の儀』は現代の親族紹介のよいうな儀式なんです、私達も立ち会った事で、挙式の冒頭でゆっくりみんなの顔が見れて良かったなと思います。」

新郎『「三献の儀」は両家それぞれの地元のお酒を合わせたものを使いました。お義父さんから、これでもかという量のお酒を、盃いっぱいに注いでもらったのが想い出に残っています。(笑)』

音の葉「結婚式の前後で、親御様やご親族様との関係に変化などはありましたか？」

新郎「挙式前に行った『白扇の儀』で、今まで両親にとっても苦勞をかけたことを改めて実感し、その分心の距離が縮まった感じがしています。披露宴では親戚とも久しぶりに顔を合わせたことによって、その後頻繁に連絡を取り合うようになりました！」

新婦「結婚前、家族とは仲がいいが故に言いたいことは全て言いあ

ってしまいう関係性だったけど、結婚してそれがとても穏やかになりました。思いやりというか、感謝の気持ちがとても大きくなりましたね。」



愛犬のチャイちゃんと一緒に
結婚1周年の記念撮影に来てくださったおふたり

音の葉「ありがとうございます。最後になりますが、おふたりにとって音の葉とはどんな場所でしょうか？」

新郎「何度でも訪れたい場所ですね！いつも穏やかな空気が流れている場所です。」

新婦「みんな元気かな？たまには顔見に行きたいなーって思います！」

おふたりにとって音の葉とは？

何度でも訪れたい場所

みんな元気かな？

たまには顔見に行きたいなーって思う！



2021年5月 挙式
吉川 祐士 さん・夏澄 さん